

English
in your
Pocket

楽しく
英会話!

vol.2

Week 15

should've ~

~したらよかったのに

自分が何かをやらなくて後悔しているときや、すべきことをしなかった人を批判するときに使う表現が should have、省略して should've です。この後に動詞の過去分詞をつけて使います。

例えば次の例。Aさんは電話をくれなかったBさんを責めていて、Bさんはそれを聞いて反省、後悔しています。

A: If you knew you were going to be late, you should've called.

B: You're right, I'm sorry. I should've called.

A: 遅れるって分かってたのなら電話してくれればよかったのに。

B: だよね、ごめん。電話すべきだった。



注意点がひとつ。省略して言うときの発音が、まるで “should of” と言っているように聞こえるため、実際の表記でも should of と書いてしまう学生さんが多いです。

A: If you knew you were going to be late, you should've called.

~~should of~~

B: You're right, I'm sorry. I should've

~~should of~~

called.

A: 遅れるって分かってたのなら電話してくれればよかったのに。

B: だよね、ごめん。電話すべきだった。



同じように、could've (could have, 「～したかもしれない」)、would've (would have, 「～した
ろう」)も発音に引きずられて could of, would of と書いたり言ったりしてしまいがち。使うときは
注意しましょう！

⇒ポケットイングリッシュ、次回は9月30日(月)。お楽しみに！